

SAM

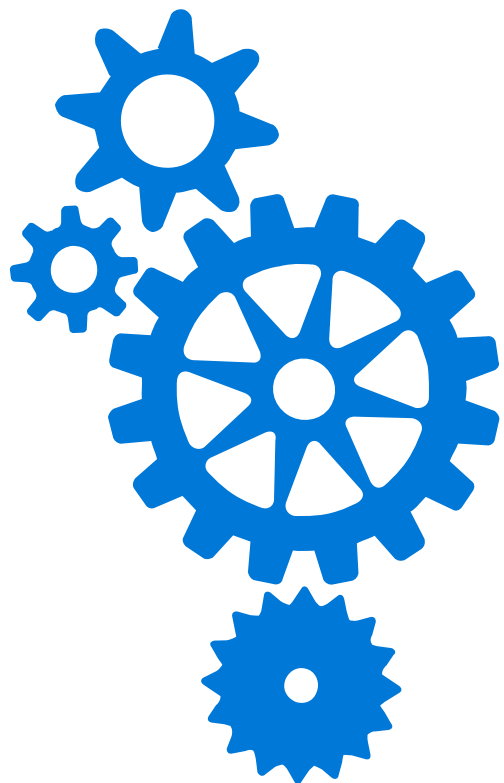
SOFTWARE ASSET MANAGEMENT

管理。最適化。 成長。

ソフトウェア資産管理



ソフトウェア資産管理 (SAM) とは



SAM は、人、プロセス、およびテクノロジーをつないで、組織全体のソフトウェアの使用状況を制御および最適化するための、実績ある IT プラクティスをまとめたものです。



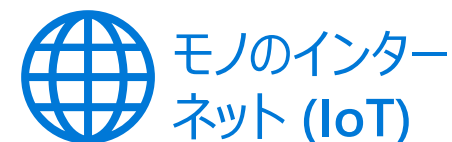
SAM がビジネスにとって重要な理由

SAM の効果:

1. コスト、リスク、および複雑さを**管理する**。
2. ソフトウェア資産の使用状況を**最適化する**。
3. ビジネス ニーズを満たすようにインフラストラクチャを**成長させる**。

現在から将来にわたってテクノロジーの動向に対応

Gartner は、2025 年までにあらゆる業界でデジタル ビジネスによる変革が生じると予想しています。CEO と上級経営幹部の 52% は、この避けられない将来を認識し、自社にデジタル ビジネス戦略があると回答しています。*



*「2016 の戦略的テクノロジートレンドトップ 10」(英語)、Gartner (2016 年)



準備はよろしいですか

現在の資産を把握されていますか。6 か月後にはどのような資産が必要になりますか。
1 年後ではどうでしょうか。

SAM のメリット

ニーズを評価して、組織への SAM プログラムの適合方法を特定するときは、次のメリットを検討します。



良好なコーポレート ガバナンス



サイバーセキュリティリスクの軽減



運用の円滑化



長期的なビジネス価値の増加



将来に対する柔軟性



従業員満足度の向上



価格を適正化するボリューム ディスカウント



財務上のセキュリティ強化



責任の管理強化



無駄と冗長性の軽減



SAM のビジネス事例

IT 管理を強化すると、事業の洞察力や応答性を向上できます。このため、価値を最大限に高め、リスクを最小限に抑えて、IT 投資から引き出せる成果を向上することができます。

ビジネスの成長と成熟に合わせて既存のテクノロジーを最適化すると共に、不要な経費を管理できるようにします。

- 既に所有している資産を活用して成果を向上します。
- 組織の本当のソフトウェア ニーズを特定して過剰な経費を削減します。
- 重大な判断を下す前に、環境を明確に把握します。
- ライセンス コンプライアンスに加えて、政府規制や社内規制への準拠を確保できます。
- マルウェアなどのサイバーセキュリティの脅威に関する安心を確保します。

リソースの最適化

SAM を実施すると、業績が上がるようにインフラストラクチャが最適化されるので、お客様のIT 機能全体を強化できます。

すべての従業員に必要なツールを確保しながらも、冗長性を軽減します。



デバイス管理の一元化によって、導入、購入、およびサポートを簡略化します。



自動化を促進して生産性を向上するポリシーを導入します。



使用率が低いサーバーやハードウェアを組織全体で特定して統合します。



競争上の優位を得られる新しいテクノロジーソリューションに、IT チームが集中できるようにします。



テクノロジーによる成長

IT 管理を強化すると、組織全体の効率が向上します。

IT 戦略を
ビジネス目標に
合わせます。

意思決定に
使用する
情報の品質を
向上します。

短期的および長期的
なテクノロジーニーズに
備えて、効果的に
計画を立てます。

IT インフラストラクチャを
利用して、
アジリティと応答性の
向上を実現します。



SAM の運用事例

積極的なソフトウェア資産管理により、導入、購入、サポートに関するプロセスが合理化されるため、IT コストを削減できます。

SAM プロセスを導入している組織は、既に所有している資産を十分に活用できます。

- 所有しているライセンスを把握し、本当に必要なソフトウェアを特定します。
- サイバー攻撃による脅威やデータ セキュリティの脅威を最小限に抑えます。
- コントロールとポリシーを一元化し、手動プロセスを自動化します。
- 従業員のモバイル デバイス使用状況を把握し、会社のネットワークにアクセスしている管理されていないデバイスのリスクを最小限に抑えます。

リソースの最適化

ソフトウェア投資の価値を最大限に引き出して、冗長性を軽減し、従業員に各自が必要としているツールを提供します。

インフラストラクチャの最適化、統合、標準化を実施します。



購入を一元化して、冗長性とコストを軽減します。



システム、ユーザー、ヘルプデスクのパフォーマンスを向上します。



バックアップ計画と復旧計画を準備します。



強い組織への成長

SAM を実施すると、IT が組織の戦略的資産になるため、アジリティと応答性を向上できます。

IT 管理を
簡略化して、
適応速度を高めます。

効果的に
資産を監視および
プロビジョニングします。

テクノロジ ニーズに
備えて
事前に計画して
おきます。

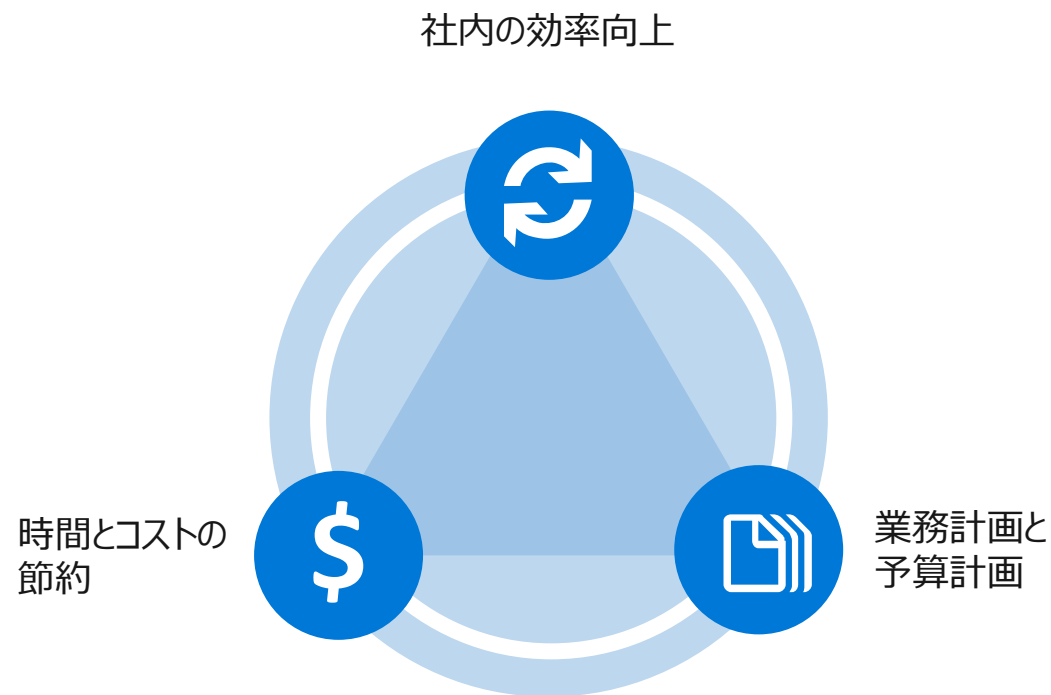
IT をビジネス目標に
合わせて、
運用の優れた分野
を広げます。

すべての関係者にメリットがある SAM

- **IT 担当者** — 所有資産を把握すると作業が簡単になるため、手続きを合理化でき、アップグレードや展開を効率的に計画できます。
- **部門長/ビジネス部門の管理者** — 現在の IT 費用を把握しやすくなるので、見込み支出や買収に対する予算計画が向上します。
- **法務部門** — コンプライアンスに関するドキュメントをすべて準備できます。
- **購入/調達部門** — 効果的な一元管理と定義済みの調達手続きによって効率が高まり、レポート作成、予算策定、IT 資産の取得が大幅に簡単になります。
- **人事部門** — 法的な脅威やセキュリティ上の脅威を最小限に抑えるポリシーを適用して、従業員のコンプライアンスを確保します。

SAM の効果は 組織全体に

効果的な SAM プログラムを実施することで、**生産性**、**可視性**、
および**収益力**が高まり、業務全体の効率向上につながります。





ビジネス上有意義な SAM

効果的な SAM プログラムを実施することで、**生産性**、**可視性**、および**収益力**が高まり、業務全体の効率向上につながります。

SAM の効果:

- ✓ コストとビジネス リスクを管理します。
- ✓ テクノロジの把握とビジネスの考察が可能になるため、リソースを最適化できます。
- ✓ テクノロジ インフラストラクチャをビジネス目標に合わせます。これにより IT が、ビジネスの成長を加速できる、組織の戦略的資産になります。

SAM

SOFTWARE ASSET MANAGEMENT

SAM 計画を 導入する方法

主な 4 つのステップ



SAM のステップ

1. 初期ソフトウェア インベントリーを実行する。
2. 整理する。インストール済みソフトウェアを保有ライセンスと照合する。
3. ポリシーと手続きを見直す。
4. SAM 計画を策定し、維持管理する。



1. 初期 ソフトウェア インベントリー

ソフトウェア インベントリーを実施して、インストール済みのソフトウェアを正確に特定します。

ネットワーク – ソフトウェア インベントリー ツール

スタンドアロン – 手動インベントリー

Microsoft SAM ツールについては、以下を参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/tools.aspx>

2. 整理、 ライセンス照合

インベントリーが完了したら、ライセンスをソフトウェアに対応付ける必要があります。

ライセンスの種類

- マイクロソフト ボリューム ライセンス プログラム
- OEM ソフトウェア (プレインストール済み)
- FPP ソフトウェア (リテール製品)
- その他...



マイクロソフト
エンタープライズ
契約

マイクロソフト
オープン
バリュー

マイクロソフト
オープン
ライセンス

マイクロソフト
オープン バリュー
サブスクリプション

3. ポリシーと 手続きの 見直し

- 調達プロセスを一元化する。
- ソフトウェアの使用ポリシーを周知する。
- ソフトウェアのチェックイン プロセスを確立する。
- ソフトウェアの障害復旧計画を作成する。

4. SAM 計画の策定

- ソフトウェア ニーズを分析する。
- ソフトウェアのトレーニングを提供する。
- サポート コストを削減する。
- ソフトウェアを安全に保つ。
- ソフトウェア マップを作成する。
- 定期的なインベントリーのスケジュールを作成する。

マイクロソフト SAM パートナーとの連携



マイクロソフトは、SAM パートナーのネットワークと連携して、世界中のお客様に SAM の積極的な支援をお届けします。

マイクロソフト SAM パートナー:

- Microsoft Partner Network で認定資格を取得しています。
- SAM のソリューションやベスト プラクティスについての知識と理解が豊富です。
- 一部のパートナーは、クラウド ソリューションとモバイル活用ソリューションなど、複数の分野で認定資格を取得しています。
- 高品質なサービスを提供できます。

Microsoft SAM パートナーについては、以下を参照してください。

www.microsoft.com/ja-jp/sam/partners.aspx

SAM エンゲージメントの活動内容

これらのフェーズは、すべてのマイクロソフト SAM エンゲージメントで実施します。各フェーズを実施することで、IT インフラストラクチャを最適化して長期的な SAM 計画を導入する方法についての、検討事項と提案内容を導きやすくなります。

フェーズ

計画

計画フェーズでは、インフラストラクチャの背景情報と将来の計画や目標に関する情報を収集し、主な関係者との面会を含めたデータ収集と分析の計画を立てて、必要な情報源へのアクセスを確保します。



データ収集

データ収集フェーズでは、保有ライセンスと使用状況に対応付けて、ソフトウェア資産の検出およびインベントリー作成に関連するすべてのデータをまとめます。すべての関連データが収集されて完全で正確な分析が実行されるよう、追加の情報が必要になる場合もあります。



データ分析

データ分析フェーズでは、すべての使用状況、保有ライセンス、導入、およびその他のデータに対するレビューと検証を行います。また、現在の SAM ポリシーと手続きの分析、および改善に向けた提案を提供します。

010101
101010
010101

評価

SAM エンゲージメントの最後には、パートナーが概要レポートと一連の詳細レポートで、結果、提案内容、および次に行う手順について説明します。



SAM エンゲージメント

マイクロソフトは SAM パートナーを通じて、お客様がソフトウェアの使用と導入に関する情報把握と管理をより簡単に行えるようにする、さまざまな種類の SAM エンゲージメントを提供しています。



Baseline Review



Virtualization



Cloud Ready Deployment



Non-production Environments



SQL Workload



Cybersecurity Assessment



Mobile Device Management



Baseline Review

現在のマイクロソフト製品の導入とライセンス状況に関する全体像と、ソフトウェア資産管理ポリシーと手続きの改善方法についての強力な提案をお求めのお客様を対象としています。

Baseline Review エンゲージメントの主な成果物は、SAM 最適化モデル (SOM) アセスメントです。SAM 最適化モデルは、ISO 標準への準拠をサポートする効果的な SAM プログラムの実装を準備するための、基盤とガイダンスの役割を果たします。

SAM 最適化モデル



Baseline Review エンゲージメントについては、以下のページを参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/baseline.aspx>



Cloud Ready Deployment

一部または全部のインフラストラクチャをクラウド環境に移行しようと検討中のお客様を対象としています。

マイクロソフトはクラウド コンピューティングの普及を受けて、Cloud Ready Deployment エンゲージメントを設けました。この SAM エンゲージメントを利用すると、お客様はクラウド 準備状況を評価でき、重要な SAM ポリシーと手続きを策定してクラウドとオンプレミスへの投資を効率的に管理できます。

- [2016 年版 Computerworld CIO 調査](#) (英語) によると、クラウド コンピューティングは引き続き急成長している IT 予算分野の 1 つです。
- データやビジネス プロセスをクラウドに移行すると、従来のエンタープライズ IT 環境に勝るメリットをいくつも得られます。
- クラウド戦略は、コスト削減、アジリティ向上、およびスケーラビリティ向上に効果があります。

Cloud Ready Deployment エンゲージメントについては、以下のページを参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/cloud-ready.aspx>



Cybersecurity Assessment

導入しているソフトウェア全体を把握して潜在的なリスク分野の概要を特定し、サイバーセキュリティのプログラムとポリシーに関するガイダンスを得る必要があるお客様を対象としています。

現在の世代の IT 環境は、複数の大きな要因 (モバイル デバイス、ソーシャル メディア、クラウド ソリューション、およびビッグ データ) の影響を強く受けています。このため、IT の運用とプロセスは絶えず変化しています。

マイクロソフトは Cybersecurity Assessment エンゲージメントを設けることで、ガイダンスとリソースを提供し、お客様がセキュリティ リスクを軽減しながらも IT 環境のサイバー脅威を最小限に抑えられるようにしました。

モバイル

全世界の
モバイル
ワーカーは



**2015 年までに 13
億人** (総労働人口の
37% 以上) に

ソーシャル

65% の会社が
少なくとも 1 つの
ソーシャル ソフトウェ
ア ツールを導入



クラウド

70% の組織
が
クラウド コンピューティ
ング ソリューションを
使用または検討



ビッグ データ

**今後 5 年間で非
構造化データは
80% 増加の予想**



Cybersecurity Assessment エンゲージメントについては、以下のページを参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/cybersecurity.aspx>



SQL Workload

活用していない可能性がある SQL Server、データの増加、または不要なコストの削減ニーズにより、SQL Server 環境について明確に把握する必要があるお客様を対象としています。

データが急増すれば、大量のデータからビジネス上の洞察を得るというビジネス ニーズをサポートする環境の管理がいっそう複雑になります。

マイクロソフトは、SQL Workload エンゲージメントを設けることで、お客様が SQL Server 環境を最適化できるようにするガイダンスとリソースを提供しています。

OLTP (トランザクションのワークロード)

- パッケージ版ビジネス アプリケーション
- カスタム アプリケーション開発
- 外部 Web サイトの展開
- 社内 Web サイト/イントラネット/コンテンツ管理

ビジネス インテリジェンス (BI) とデータウェアハウス

- 企業向けビジネス インテリジェンス
- セルフサービスの BI
- 高度な分析、データ マイニング、OLAP キューブ
- エンタープライズ データ ウェアハウスとデータ マート

IT

- 開発とテスト
- 社内 IT 生産性ツール
- 接続型アプリケーション

SQL Workload エンゲージメントについては、以下のページを参照してください。

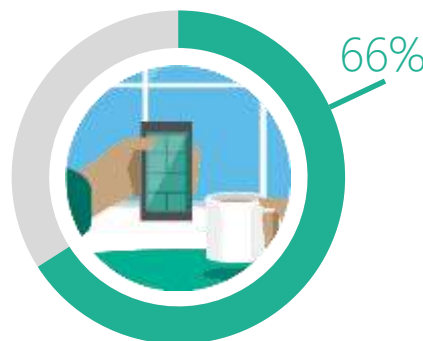
<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/workloads.aspx>



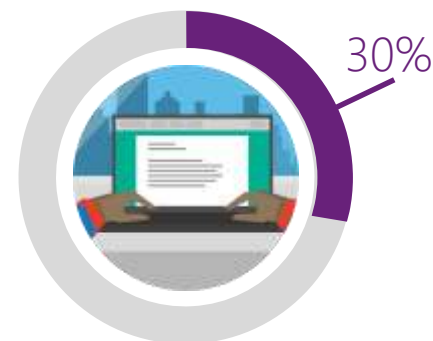
Mobile Device Management

社有デバイスとユーザー所有デバイスの両方について、モバイル デバイスの管理とセキュリティを統合する必要があるお客様を対象としています。こうしたお客様は、ユーザーが社内リソースにアクセスできるようにしながらも、会社のデータを保護して適切なライセンス要件に準拠している、統合されたインフラストラクチャを利用します。

モバイル活用は新たな標準です。マイクロソフトは、Mobile Device Management エンゲージメントを設けることで、お客様がモバイル デバイスの使用と管理を最適化できるようにするガイダンスとリソースを提供しています。



個人用デバイスを仕事に使っている従業員の割合



サービスとしてのソフトウェア (SaaS) 配信モデルの年間成長率



ある程度以上の時間を職場以外での仕事に費やしている従業員の割合

Mobile Device Management エンゲージメントについては、以下のページを参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/mdm.aspx>

Virtualization

既存の仮想環境を評価し、仮想化拡大の新たな機会を特定することで、強力な仮想化戦略を定義するための支援をお求めのお客様を対象としています。

仮想環境はプロビジョニングが比較的容易な傾向があります。このため、パフォーマンスが最適になるよう仮想環境を設定して適切なライセンスを適用することに関して、複雑な状況や課題が発生しがちです。マイクロソフトは Virtualization エンゲージメントを設けることで、最適化できる分野を特定し、今後のプロビジョニングを管理するために導入する適切なポリシーを判断します。

サーバー 仮想化



仮想環境で Windows Server ホストプラットフォームを使用して、次の例のような要件を統合します。

デスクトップ 仮想化



ユーザーが所有する 1 台または複数台のクライアント デバイスに適宜デスクトップを配信できます。

アプリケーション 仮想化 (App-V)



アプリケーションの集合が、動的にオンデマンドで配信される (インストールされない) サービスとして一元管理されます。

Virtualization エンゲージメントについては、以下のページを参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/virtualization.aspx>



Non-production Environments

非運用環境の特徴、その環境にアクセスするユーザー、およびその環境で実行されているソフトウェアのライセンス状況を把握できる必要に迫られているお客様を対象としています。

マイクロソフトは、Non-production Environments エンゲージメントを設けることで、お客様の組織がカスタム ソフトウェアを作成したり、運用環境とは別のなんらかのラボ環境を使用したりする際に生じる、ビジネスやライセンスの課題にお客様が対処できるようにしました。

お客様の組織で明確に把握できる情報:

- 非運用システムが導入、開発、テスト、撤去、再構築される方法
- 組織のソフトウェア フットプリント
- 利用可能なライセンス サブスクリプション
- ライセンスが必要なユーザーとライセンス方法



Non-production Environments エンゲージメントについては、以下のページを参照してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/sam/non-production.aspx>

管理。最適化。成長。

詳細情報:

www.microsoft.com/ja-jp/sam